

あかるいまち21

No.896号 2016年2月16日 組織部 TEL082-532-1264

	戦争法廃止 2000万署名
組合員	447筆
職員	280筆
合計	727筆

中央ブロック介護保険学習～地域包括支援センターの役割～

中央ブロックでも 2月5日生協けんこうプラザにて油野井口台・井口地域包括支援センター長から「地域包括支援センターの役割」についてお話をいただきました。参加者からは具体的なお話でとても分かりやすかったと好評でした。

介護保険制度が改定され、これからの自分の問題として関心も高く、28人の参加者のみなさんは、熱心に聞いておられました。

けんこうチャレンジ記念品お渡し訪問エピソード①

2月のある日、廿日市市六本松にお住まいの方から組織部に電話が入りました。「『けんこうチャレンジ』の修了報告書を送ったんだが、あれで良かったんかいのお？」というものでした。現在、支部では修了記念品お渡し訪問を取り組んでいるところです。今回お電話頂いた方は廿日市市六本松……。同じ廿日市市とはいっても、佐伯町内を範囲とする佐伯支部からは距離が離れていたこともあり、組織部ではいったん「郵送で修了記念品を送らせていただきますので」と電話ではお返事しました。

しかし、わざわざお電話をいただくほど、気にしていただいている方……。本当にそれでいいのだろうか……。と、組織部の会議で話し合い、訪問対話を進めることにしました。早速、組織担当者が佐伯支部の遠藤支部長に相談したところ、すぐに訪問して頂けることになりました。

【対話の内容】

まず、この方は80代の男性でご夫婦で暮らしておられます。近くの公民館でけんこうチャレンジのパンフレットを見つけ、チャレンジしてみたそうです。福島生協病院はご家族が利用された経験があり、よく知っておられました。ご家族が生協組合員ということでしたので、すかさずご本人へ加入をお勧めし、加えて齋藤とも子さんの講演会も勧めました。折り鶴などを作るのが好きだということで作品も見せていただくなど、30分くらいも懇談しました。このけんこうチャレンジは次回もチャレンジしたいそうです。

【修了記念品グッズ】



佐伯町から六本松までは相当距離があるかと思いますが、貴重な対話でした。遠藤支部長さん、大変ありがとうございました！

是非、他の支部からも、けんこうチャレンジの修了記念品お渡し訪問での「出会い」の様子を、組織部までお寄せください。

協同組合がよりよい社会を築きます